

平成29年度（平成28年度実施分）個別施策評価シート

① 総務委員会

評価する個別施策	協働に対する理解の促進 ・協働によるまちづくりの基本理念と市民協働を進めるためのルールを広め、協働に対する理解の促進に努めるとともに、市民と行政が共に考え、決定し、行動する取り組みを進めます。
----------	--

項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄は必ず記入してください。

評価項目	評価基準			判断理由・評価コメント
	点数	チェック	評価点	
個別施策の実現に向けて順調か	概ね順調	76～100		40 「順調に進んでいる点」 総合計画基本成果指標の“市民が中心となって協働のまちづくりが進んでいると思う市民の割合”が目標値の35%よりも増えて50.5%になっている。 「遅れている点」 協働に対するルールや理念といった、本質的な理解の促進をさらに広める必要がある。 「その他コメント」 無し
	どちらかといえば順調	51～75		
	どちらかといえば遅れている	26～50	○	
	遅れている	0～25		
構成する事務事業は、個別施策を実現するために有効か	個別施策実現のために必要な内容が不足していないか			不足している。 協働によるまちづくりの基本理念、市民協働を進めるためのルールについて市民は十分に理解していないため。
	無駄な事業・内容はないか (不要な事業、類似事業を含む)			無し
	その他コメント			成果指標が目標値よりも増え50.5%になった理由は、この個別施策だけでなく、コミュニティ活動支援や、ボランティア・市民活動支援など、様々な要因の結果ではないか。
施策の今後の方向	注力すべき事業・内容はあるか。どのように改善するか (事業自体はあるが、改善をすべき内容を記載。委託も。)			無し
	追加すべき事業はないか (事業自体無い、あるいは、不足している内容を記載)			・もう一度原点に立ち返り、協働に対する勉強と理解の促進に努める必要がある。 ・今ある市民協働の活動をさらにステップアップさせることが必要である。 (市民協働は地域によって格差はあるものの、その取り組みは知らず知らずのうちにできている。しかしながら、協働によるまちづくりの基本理念と市民協働を進めるためのルールについては、市民は十分に理解していない。また、市民と行政が苦手分野を補い、それぞれの得意分野を伸ばしていき、共に考え、決定し、行動する市民協働の取り組みもまだまだである。)
	廃止すべき事業・内容はあるか			無し
	その他コメント (不要だが廃止しない場合の理由、などを記入)			無し
その他コメント	市民協働は第6次半田市総合計画の根幹であり、市全体をコントロールする重要な施策である。施策の内容を本気で達成させるつもりがあるのであれば、市民協働課の職員が足りなさすぎるのではないか。市民協働課は、市民協働の推進の他に、自治区やコミュニティ活動支援、ボランティア・市民活動支援、はんだまちづくりひろばの運営も行っており、現状では現場やその時どきの対応に追われているようで、人手不足を感じる。市民協働はマンパワーであるので職員を増やすべきではないか。			

平成29年度（平成28年度実施分）個別施策評価シート

② 総務委員会

評価する個別施策	広報活動及び情報提供の推進 ・ 市政に関する情報、市民生活や市民活動に関する情報を広報紙、インターネット、ケーブルテレビなどの多様な媒体を利用し、迅速かつ詳細に提供します。 ・ 市政に関する情報の積極的な提供により、市政への関心と参加意識の醸成を図ります。
----------	---

項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄は必ず記入してください。

評価項目	評価基準			判断理由・評価コメント	
	点数	チェック	評価点		
個別施策の実現に向けて順調か	概ね順調	76～100		45	「順調に進んでいる点」 紙媒体やインターネットなどで一定の情報発信ができています。
	どちらかといえば順調	51～75			「遅れている点」 一方的な発信になっていて、市民が情報を受け止めていないのではないか。
	どちらかといえば遅れている	26～50	○		「その他コメント」 無し
	遅れている	0～25			
構成する事務事業は、個別施策を実現するために有効か	個別施策実現のために必要な内容が不足していないか			無し	不足している。 総合計画の市民評価でも指摘があるように、情報を受け止めているかの確認作業が必要であるため。
	無駄な事業・内容はないか (不要な事業、類似事業を含む)			無し	
	その他コメント			無し	
施策の今後の方向	注力すべき事業・内容はあるか。どのように改善するか (事業自体はあるが、改善すべき内容を記載。委託も。)				市政に関する情報は福祉や教育関連が多く、他の分野の情報公開が少ない。課によってその意識が異なることなく積極的な情報提供が必要である。
	追加すべき事業はないか (事業自体無い、あるいは、不足している内容を記載)				・ 一方的な情報提供にならないように、市民が情報をどのように受け止めているかの確認作業を行うこと。 ・ 情報提供についてのフィードバックを行うことで、発信内容や方法の改善を図る必要がある。 (例えば市報においては、その情報内容の中でどの記事が良かったか、などを投稿できる枠組みを設けてはどうか。)
	廃止すべき事業・内容はあるか				無し
	その他コメント (不要だが廃止しない場合の理由、などを記入)				部または課ごとに情報発信用のFacebookをつくり、それぞれで特徴的な情報提供を行い、市役所内の部または課の対抗で市民への情報提供を競い合う取り組みを設けてはどうか。
その他コメント					無し

平成29年度（平成28年度実施分）個別施策評価シート

③ 総務委員会

評価する個別施策	交通安全教育の推進 ・子どもたちを交通事故から守るため、幼稚園・保育園、小中学校、高校で交通安全教室を開催します。 ・高齢者宅を訪問し交通安全指導を実施するとともに、高齢者を対象とした交通教室を開催します。 ・自転車損害賠償保険等の加入、自転車交通ルールの順守を促進します。
----------	---

項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄は必ず記入してください。

評価項目	評価基準			判断理由・評価コメント
	点数	チェック	評価点	
個別施策の実現に向けて順調か	概ね順調	76～100		65 「順調に進んでいる点」 交通安全教育は徹底されており、総合計画の成果指標はまずまずの結果である。 「遅れている点」 交通事故の減少がまだまだ図られていない。特に高齢者の事故割合が高い。また飲酒運転の検挙者は後を絶たない。 「その他コメント」 無し
	どちらかといえば順調	51～75	○	
	どちらかといえば遅れている	26～50		
	遅れている	0～25		
構成する事務事業は、個別施策を実現するために有効か	個別施策実現のために必要な内容が不足していないか			不足している。 高齢者の交通安全意識がまだまだ低く、さらなる交通安全啓発の推進が必要であるため。
	無駄な事業・内容はないか（不要な事業、類似事業を含む）			無し
	その他コメント			無し
施策の今後の方向	注力すべき事業・内容はあるか（どのように改善するか（事業自体はあるが、改善をすべき内容を記載。委託も。）			・高齢者の交通安全教室や講習は、被害者である歩行者としてのものだけでなく、加害者となる運転者としてのものを加え、さらに充実させる必要がある。 ・飲酒運転根絶に関する条例をもとに、警察や地域と連携しさらなる啓発活動の推進が必要。
	追加すべき事業はないか（事業自体無い、あるいは、不足している内容を記載）			・高齢者に対する啓発については、老人クラブとの連携以外にも、区との連携、敬老会、病院など、高齢者の集まるところとの連携を模索する必要がある。 ・反射材は配布するだけで終わることなく、身に着けることの重要性を啓発していく必要がある。 ・高齢者が交通事故の加害者にならぬように、運転講習等の対象年齢を引き下げ、補助していく必要がある。 ・運転免許証返納推進活動をコミュニティバス運行のタイミングにあわせて計画すること。
	廃止すべき事業・内容はあるか			無し
	その他コメント（不要だが廃止しない場合の理由、などを記入）			無し
その他コメント	無し			

平成29年度（平成28年度実施分）個別施策評価シート

④ 総務委員会

評価する個別施策	時代に即応した柔軟な組織づくり ・社会情勢の変化に伴う市民ニーズに対して、的確かつ柔軟に対応でき、わかりやすい組織づくりに努めます。 ・緊急の課題や総合的な課題に対してはプロジェクトチームを活用し、横断的に調整・対応します。
----------	---

項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄は必ず記入してください。

評価項目	評価基準			判断理由・評価コメント	
	点数	チェック	評価点		
個別施策の実現に向けて順調か	概ね順調	76～100		25	「順調に進んでいる点」 マイレポ半田は、市民ニーズに対しの確かつ柔軟に対応することに多少貢献している。
	どちらかといえば順調	51～75			「遅れている点」 個別施策と個別事業が噛み合っておらず、個別施策がめざす本来の目的が行われていない。
	どちらかといえば遅れている	26～50			「その他コメント」 無し
	遅れている	0～25	○		
構成する事務事業は、個別施策を実現するために有効か	個別施策実現のために必要な内容が不足していないか				不足している。 個別施策の目的を達成させるための具体的な事業実施や、個別事業が見当たらない。
	無駄な事業・内容はないか (不要な事業、類似事業を含む)				無し
	その他コメント				無し
施策の今後の方向	注力すべき事業・内容はあるか。どのように改善するか (事業自体はあるが、改善をすべき内容を記載。委託も。)				無し
	追加すべき事業はないか (事業自体無い、あるいは、不足している内容を記載)				・社会情勢の変化や市民ニーズに対して、的確に対応できる柔軟な組織体制の確立をすること。 ・緊急の課題や総合的な課題に対して、プロジェクトチームを活用し、横断的に調整・対応する組織体制の確立をすること。 ・組織体制づくりやプロジェクトチームは、情報公開して見える化すること。プロジェクトチームの活用については、何の課題のためのプロジェクトチームなのか明確にし、内規作成、経過、結果、成果などを情報公開する。
	廃止すべき事業・内容はあるか				無し
	その他コメント (不要だが廃止しない場合の理由、などを記入)				・すぐやる課の早期設置。
その他コメント	無し				